

学力向上に向けた取組

函館市立潮光中学校

1 課題

基礎的・基本的な知識・技能の確かな定着
自己肯定感の育成

2 課題解決の具体策

研究とリンクした言語活動の充実
体験学習の中で、また体験を発表する機会の設定

3 取組の概要

本校の研究テーマ「生きる力をはぐくむ言語活動の充実」と関連しながら、国語を中核に他教科でも、学習活動の基礎・基本である言語活動の充実を図る。特に対話を促進する授業の工夫（正解が一つに絞れない課題の提示など）をする。

- ・社会科における、図や表からの読み取りと説明
- ・理科における観察・実験の予想と根拠
- ・技術・家庭科における未来の環境問題
- ・道徳における携帯電話の是非など価値判断

朝読書の日常化で、言語や文化に親しむ態度を育てる。

- ・毎日朝学活前の10分間の朝読書時間の確保

異年齢の生徒、地域の人々と行事や体験学習を通して他者とのコミュニケーションの機会を設定する。

- ・行事の準備・実施・後始末で学年縦割りで作業
- ・海浜清掃で地域の方と作業
- ・職場体験学習で言葉遣い、マナーの学習

全校生徒の前で発表する機会を一人一人に設ける。

- ・始・終業式での抱負や学期の反省の発表
- ・地域の文化、祭典参加のレポート作成と掲示
- ・ALTと積極的な会話



4 成果と課題

生徒一人一人に発表の場を設け、賞賛やアドバイスをすることで自信を持ち表現する力が向上した。

目に見える学力、特に活用能力（数値）と目に見えない学力（意欲・態度）が生徒一人一人にどれだけ身についたのか、検証方法の確立していく。